

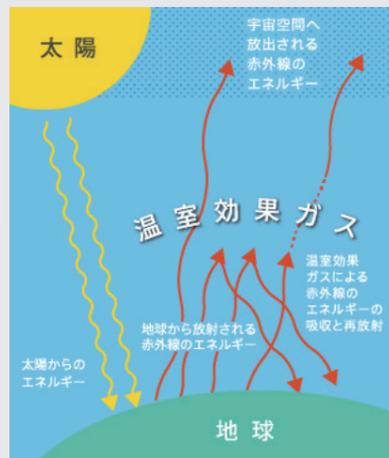
## 地球温暖化の現状

地球温暖化は、生態系や人間の生存基盤に影響を及ぼす極めて深刻な環境問題になっています。地球温暖化対策は、市民生活、事業活動に密接に関連するものであり、市民一人一人が継続的に取り組んでいくことが求められます。



### 【地球温暖化の仕組み】

- ①太陽からのエネルギーで地上が温まります。
- ②地上から放射される熱を温室効果ガス(主に二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、代替フロンなど)が吸収・再放射して、大気が温まります。
- ③温室効果ガスの濃度が上がると、温室効果がこれまでより強くなり、地上の温度が上昇します。



出典：環境省

### 【地球温暖化による影響】

陸域と海上を合わせた世界平均地上気温は、1880年から2012年までの期間に0.85℃上昇しました。また、最近30年の各10年間は、1850年以降のどの10年間よりも高温でした。1880年に観測が始まって以来、2015年は世界の平均気温が過去最高を記録し、最も暑い1年になりました (NOAA/NASA 発表)。

この地球温暖化により、洪水や干ばつなどの自然災害の増加、感染症や熱中症などの健康被害の増加、農作物の生産性の低下、海面の上昇などの影響が懸念されています。

また、環境省のモデル事業の採択を受け、市内公共施設などにおける二酸化炭素の排出量削減に取り組んでいます。

小中学校のほか、空調設備の経年劣化が進んでいる、ゆめトピア長船などの公共施設を含めた20施設について、照明・空調設備などの改修による省エネ化と、新たな再生可



空調・照明の省エネ改修予定のゆめトピア長船

## 市の取り組み

では、「瀬戸内市地球温暖化対策実行計画」を策定し、ノーマイカーデー、クールビズなど、継続的に地球温暖化対策に資する取り組みを実施してきました。

4月からは環境部環境政策推進室を設置し、地球温暖化対策をより一層推進していくとともに、環境省が推進する国民運動「COOL CHOICE」(賢い選択)の取り組みに賛同し、エコドライブの推進などの普及啓発を実施しています。

では、「瀬戸内市地球温暖化対策実行計画」を策定し、ノーマイカーデー、クールビズなど、継続的に地球温暖化対策に資する取り組みを実施してきました。

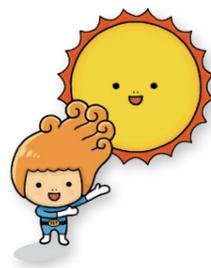
能エネルギー施設の整備、蓄電池の設置を行います。

これにより、対象施設における二酸化炭素の排出量を削減するとともに、電気代を含む設備の維持管理費用を低減させることを目指します。

後も地域の生活スタイルに即した取り組みを

皆さんにとつてより「賢い選択」ができるよう、普及啓発に取り組んでいきます。

環境政策推進室  
☎0869・24・7281



「賢い選択」で暮らしにやさしく



地球にやさしく

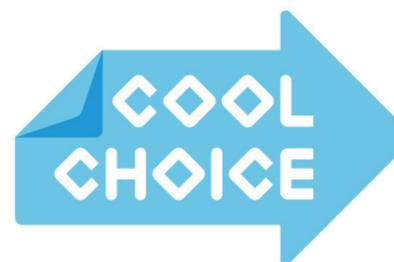
環境に優しい自転車でエコな移動

## クール CHOICE (=賢い選択)

日本政府は2015年、地球温暖化対策推進本部において、2030年度の温室効果ガスの排出量を26%削減(2013年度比)する目標を掲げました。

「COOL CHOICE」は、この目標達成のために、低炭素型の製品・サービス・ライフスタイルなど、地球温暖化対策に資する、あらゆる「賢い選択」をしていこうという取り組みです。

皆さんもこの機会に、身近な生活の中で、未来のために今できる「賢い選択」を考えてみませんか。



未来のために、いま選ぼう。

# 瀬戸内市の「COOL CHOICE」を 考えるシンポジウム



パネリスト  
中谷 八郎  
環境学習センター「アスエコ」所長



コーディネーター  
藤森 涼子  
日本テレビキャスター・気象予報士



基調講演講師・パネリスト  
諸富 徹  
京都大学大学院教授



パネリスト  
武久 顕也  
瀬戸内市長



パネリスト  
武田 史子  
株式会社ベネッセコーポレーション「サンキュ!」編集長

ゆめトピア長船で10月29日、『瀬戸内市の「COOL CHOICE」を考えるシンポジウム』が開催されました。諸富徹氏の基調講演の後、パネルディスカッションが行われ、「COOL CHOICE」に関する活発な意見が交わされました。このページからは、パネルディスカッションの要旨を紹介します。

## 自己紹介と メガソーラーについて

**武田** 「サンキュ!」という女性向け生活情報誌の取材で、毎月全国に伺っています。現在、主婦を一番知っている雑誌の代表として、環境省のクールチョイス推進チームに選ばれ、活動しています。

**諸富** 大学の授業、研究活動だけではなく、温暖化対策や再生可能エネルギーを支援する活動も行っています。

**中谷** 環境学習センター「アスエコ」は、どなたでも気軽に寄れる施設で、環境情報の発信や環境学習、イベントなども行っています。

**武久** それぞれの分野でご活躍の皆さんと議論を深められることをうれしく思います。

錦海塩田のメガソーラー事業が、地域にどのような意味があるのかということ、皆さんと共有していく必要があると思います。

地元の皆さんの雇用が生まれたり、市としても税収や土

地貸付料があったり、そういうものが地域への再投資としてまわっていくことを考えながら事業を行っています。

**諸富** 太陽光発電の固定価格買取制度が創設された時点で、いち早く事業に着手されたことは、すばらしく、早く、賢い決断だったと思います。

25年間で100億円の収入（土地貸付料など）は、市民の財産。これをどういう形で有効活用して、地域づくりをしていくかが、大きなポイントになってきます。

**藤森** メガソーラーの導入は、市としてのクールチョイスだったというわけですね。

**中谷** 今後は、メガソーラーを中心とした観光や環境学習など、新しいものに取り組みが必要があると思います。



錦海塩田跡地にメガソーラー（大規模太陽光発電所）が完成すると、市内の二酸化炭素排出量の約半分に相当する量の削減効果があると見込まれています

## それぞれの立場の クールチョイスについて

**武田** 国では、2030年度までに温室効果ガスを26%削減するという目標を掲げています。国や自治体でも賄いきれない目標なので、「家庭でも頑張ってもらいましょう」（家庭では約40%削減が目標）というのが大きなテーマになっています。

**中谷** 県内では、行政の方も温室効果ガス削減に力を入れています。我々も県、市町村一緒になって、40%削減を県民に伝えています。

**武久** 市としては、これまでの県、消費生活問題研究協議会の皆さんと「環境フェスタ」を開催してきました。

## 家に帰ってすぐできる クールチョイスは？

そうした取り組みをさらにもう一歩進めていくために、わたしたち行政ができることを考えていきたいと思っています。

**武田** エコが良いと分かっているけど、毎日続けられ、楽しいことがないと難しいのかもしれないと実感しています。

また、一人でやらないというのも大事です。家族を巻き込んで、例えば、家の電気代を数字として見える化し、家族で共有することが最初の一歩かなと思います。

**諸富** 4月から「電力自由化」により、電気（電力会社）も選択できるようになったのは大きな前進だと思います。

**中谷** 皆さんも朝起きて、ここへ来るまでに数えきれない選択をしています。その選択にちよっとだけエコの要素を加えることで、クールチョイスになります。

**藤森** そこに心地よさやうれしさ、楽しさが生まれれば、続けることができますよね。

## 皆さんにメッセージを

**武田** 自分にとって本当に必要なものは何かということから始めること、暮らしも快適になり、エコにつながると思います。

**諸富** 家庭を一步出て、地域として、まちづくりとして、何かできることはないか、考えてもらえればと思います。

**中谷** 美しい自然環境を次の世代へつなげるために、我々も頑張らないといけないと思っています。一緒に頑張っていきましょう。

**武久** 使用電気を減らすだけではなく、再生可能エネルギーを作り出していくことも大きなクールチョイスになります。また、それが地域づくりにつながっていくところを、行政として何かできることがあるのではないかと実感しています。



さまざまな意見が交わされたパネルディスカッション



環境問題をテーマに作られた「環境かるた」で遊ぶ子どもたち（環境フェスタ）



皆さんから「賢い選択」を募集しました

瀬戸内市マスコットキャラクター  
セットちゃんも実践！



6月に開催された「環境フェスタ」で来場者の皆さんから寄せられた「賢い選択」を紹介します。

身近な生活の中で、わたしたちでも簡単にできる「賢い選択」を考えて、実践してみましょう。

わたしたちでも  
できること

日頃の小さな選択が  
未来を大きく変えていきます



照明などの電気はこまめに消して節電しましょう。また、照明を消費電力が少なく、長寿命のLEDに替えることで、省エネにつながります。



日傘などで暑さをしのぐ工夫をしましょう。日差しの強い日中でも快適に移動できます。



うちや扇風機を有効活用！ エアコン以外の風で涼しく過ごし、エアコンに頼りすぎないようにしましょう。



ごみを分別してリサイクル。最近、ペットボトルからペットボトルをつくる取り組みが広がり、ゼロからつくるよりも二酸化炭素を削減できます。



図書館は、冷房も貸してくれます。図書館など、涼しい場所をみんなで共有し、各家庭のエアコンの利用時間を減らせば、二酸化炭素削減に。



動かないという選択。電気を使わない日向ぼっこでもしながら、自分なりの「賢い選択」を考えてみましょう。



買い物に行くときは、マイバッグを持参しましょう。レジ袋などのごみを減らすことで、二酸化炭素削減につながります。



自宅や職場で手軽に運動やストレッチ！ 血行を良くし、身体があたたかくなったら、エアコンの利用を控え目にしましょう。



温度計の温度を測定する参加者

地球温暖化を科学実験で体験

親子ワークショップ  
「地球温暖化体験学習」

ゆ めトピア長船で10月29日、親子ワークショップ「地球温暖化体験学習」が開催されました。

NPO法人体験型科学教育研究所（リアルサイエンス）専務理事の古川和氏を講師に迎え、地球温暖化の仕組みを学び、今できる温暖化防止策を考えてもらおうと、市が企画。63人の親子が参加し、温暖化防止策について話し合いました。

最初に行われた実験では2本の土入りペットボトル（片方はラップで覆う）に温度計を入れ、その間に置いた電球をつけたときの温度上昇を測定。参加者は、ラップで覆ったペットボトルの方が、温室効果により温度上昇を確認しました。

また、クイズやゲームも行われ、参加者は楽しみながら地球温暖化の仕組みについて学んでいました。



地球温暖化の仕組みを参加者の劇で説明する古川氏（写真中央）



Interview



時岡小舞ちゃん 時岡大斗くん

最後のボードゲームが面白かったです。また、二酸化炭素が熱や光をキャッチしたり、光が宇宙空間に抜けたりすることなどいろいろ分かりました。今後は、どうすれば二酸化炭素を出さないようにできるか、考えながら生活していきたいです。



ボードゲームで楽しみながら、地球温暖化の仕組みを学習

